

## OECD 税務長官会議 最終声明（仮訳） 2014 年 10 月 24 日 アイルランド共和国 ダブリン

我々、38 カ国の税務当局の長官は、第 9 回 OECD 税務長官会議（FTA）のためにダブリンに会した。

【 <http://www.oecd.org/site/ctpfta/>】

FTA は、税源浸食と利益移転 (BEPS) プロジェクトの下で取り組んでいる主要な作業において重要な時期にきている。本会議は、BEPS 行動計画の最初の 7 つの成果物を歓迎し、所要の法制手続きの完了を条件として世界的なレベルでの金融口座情報の自動的情報交換の迅速な実施を合意した 9 月の G20 財務大臣会議の後に行われた。

【 <http://www.oecd.org/ctp/exchange-of-tax-information/standard-for-automatic-exchange-of-financial-information-in-tax-matters.htm>】

サービスレベル及び運用効率を高めつつ、これらの世界的なイニシアティブの実施を支援するために、我々は、税務当局及びコンプライアンス管理に責任ある長官として、これまで以上により密接に連携し、知識を共有し、協調するとともに、BEPS に係る作業から生じる税務行政の局面に対応していかなければならない。我々は、G20 財務大臣による、一層の「国境を越える税務上のアレンジメントに関与している事業体及び個人に対する法令遵守活動についての、税務当局間の協調と協働」に対する支援を考慮し、以下の行動に合意した。

・我々は世界的な税務協力において重要な一步を踏み出している。我々は、既存の法的文書に基づき、世界的な税務リスクがいつどこで発生しても早急に把握できるような組織的で強化された税務当局間における協力のための戦略に合意した。我々は、この戦略と共に、特に国境を越えた租税回避に重点をおいた JITSIC<sup>1</sup> ネットワークという新たな国際的基盤を創り上げるための作業を行っており、このネットワークは全ての FTA メンバーが自発的に参加できるよう開かれている。この新たなネットワークは、いくつかのメンバー間で行われている既存の各国間の協力関係を、より大きな FTA の枠組みに統合するものである。

・我々は、自動的情報交換の新たな基準の実施のために必要な資源を投じ、脱

---

<sup>1</sup> JITSIC は「Joint International Tax Shelter Information and Collaboration (国際タックスシェルターについての情報と協調)」を意味する。(以前は「Joint International Tax Shelter Information Centre (国際タックスシェルター情報センター)」)

税が生じている場合には、納税者に係る機密性を守り、情報の適切な使用を確保した上で、脱税に対応するために情報を使用する。我々は、共通の安全で効果的な伝達システムを確保する。

・我々は、政府と納税者の要求をともに満たし、世界的な税務環境において相互協議の手續が重要な役割を果たすことを確実にするために、二重課税の問題がより迅速かつ効率的に対処されるよう、相互協議手續(MAP)の実施作業を改善する。2015年のBEPS行動項目による成果と統合されるであろうこの分野に関しては、さらなる作業が進められている。我々は、全てのメンバー国の権限ある当局が、関連する活動に積極的に参加することを奨励する。

【 [www.oecd.org/site/ctpfta/map-strategic-plan.pdf](http://www.oecd.org/site/ctpfta/map-strategic-plan.pdf)】

我々の議論は、強固な自発的法令遵守の文化を強化すべく、納税者、企業及び税務専門家とどのように関わっていくかを含め、我々税務当局が直面しているいくつかの主要課題にも焦点を当てた。我々は、税務コンプライアンスが企業にとって業務開始から考慮すべき重要なガバナンス項目であり続けるよう、税務コンプライアンスに係る行動に対して早い段階からいかにして積極的な影響を及ぼすことができるかを議論した。

我々は、協力的コンプライアンスにおいて新しい段階に進みつつある。我々は、効果的な税務管理フレームワークを支える原則を策定するために企業及び仲介人とともに作業を行っている。我々は、税務の確実性を増大させたり、透明性を高めるための費用を削減したりすることによる利益を小規模企業も享受しよう、中小企業(SME)セクターの原則を徐々に拡大するための作業を進める。

【 [www.oecd.org/tax/administration/tax-compliance-by-design-9789264223219-en.htm](http://www.oecd.org/tax/administration/tax-compliance-by-design-9789264223219-en.htm)】我々は、この取り組みの成果を測定するための原則に合意している。

我々は、前回の2013年5月会合からメンバーによって行われた作業を歓迎し、その公表を本日承認した。これには、進化及び拡大を続けている電子サービスを通じて、どのようにしてセルフサービスへの投資による便益をうまく実現させることができるか

【 [www.oecd.org/tax/administration/increasing-the-use-of-self-service-channels-by-taxpayers-9789264223288-en.htm](http://www.oecd.org/tax/administration/increasing-the-use-of-self-service-channels-by-taxpayers-9789264223288-en.htm)】、徴収事務における改善された実績をどのように活用することができるか

【 [www.oecd.org/tax/administration/working-smarter-in-tax-debt-management-9789264223257-en.htm](http://www.oecd.org/tax/administration/working-smarter-in-tax-debt-management-9789264223257-en.htm)】、成果をより重視した測定手法をどのように発展さ

せ利用していくか、ということが含まれる

【 [www.oecd.org/tax/administration/measures-of-tax-compliance-outcomes-9789264223233-en.htm](http://www.oecd.org/tax/administration/measures-of-tax-compliance-outcomes-9789264223233-en.htm)】。改善し続けるためには互いに学ぶことが必要不可欠である。

本会合には、アフリカ税務行政フォーラム(ATAF)、米州税務長官会議(CIAT)、税務行政当局交流研究センター(CREDAF)、国際通貨基金(IMF)及び欧州税務長官会議(IOTA)を含む130人を超える代表者が一同に集結した<sup>2</sup>。我々の議論には、ビジネスリーダー及び税務専門家との生産的かつ効果的な関わりも含まれ、ビジネスリーダー及び税務専門家からは積極的かつ有益な貢献がなされた。

我々は、すばらしい会合を開催し、ダブリンで温かく歓迎してくれたアイルランド歳入庁に対して感謝する。また、次回会合をホストすることを承諾してくれた中華人民共和国に謝意を表明する。

---

<sup>2</sup> FTAは、英連邦税務会議(CATA)や独立国家共同体税務長官会議(the Co-ordinating Council of Heads of Tax Administrations of the Commonwealth of Independent States)、アジア税務長官会議(SGATAR)のような他の地域税務機関・グループと協働する準備ができています。